

平成8年社会生活基本調査の概要

1 調査の目的

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動（スポーツ、学習・研究、社会的活動、趣味・娯楽、旅行・行楽）について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることにより、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的としている。

この調査は、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施され、平成8年の調査は5回目に当たる。

2 調査の法的根拠

この調査は、統計法（昭和22年法律第18号）に基づく指定統計調査（指定統計第114号）で、社会生活基本調査規則（昭和56年総理府令第38号）に基づいて実施した。

3 調査の期日

調査は、平成8年10月1日現在で行った。

ただし、「1日の生活時間」については、9月28日から10月6日までの9日間のうち、調査区ごとに指定した連続する2日間について調査した。

4 調査の対象

(1) 調査の地域

平成7年国勢調査調査区から選定した約6,600調査区において調査を行った。

(2) 調査の対象

指定調査区の中から選定した約9万9千世帯に居住する10歳以上の世帯員約27万人を対象とした。ただし、次の者は調査の対象から除いた。

ア 外国の外交団、領事団及び軍隊の構成員（家族、随員及び随員の家族を含む）

イ 自衛隊の営舎内又は艦船内の居住者

ウ 刑務所・拘置所に収容されている者のうち刑の確定している者及び少年院・婦人補導院の在院者

エ 社会福祉施設の入所者

オ 病院、療養所等の入院患者

カ 水上に住居を有する者

5 調査事項

(1) 10歳以上の世帯員に関する事項

ア 氏名及び男女の別

イ 世帯主との続柄

ウ 出生の年月

エ 配偶者の有無

オ 教育

カ ふだんの介護・看護の状況

キ スポーツ活動の状況

ク 学習・研究活動の状況

ケ 社会的活動の状況

コ 趣味・娯楽活動の状況

サ 旅行・行楽の状況

シ 1日の生活時間の配分状況（行動の種類別の時間）及び天候

(2) 15歳以上の世帯員に関する事項

ア ふだんの就業状態

イ 従業上の地位及び雇用形態

ウ 仕事の種類

エ 勤め先・業主などの企業全体の従業者数

オ ふだんの1週間の就業時間

カ ふだんの片道の通勤時間

キ 週休制度

ク 連続した休暇の取得の有無・時期

(3) 65歳以上の世帯員に関する事項

子供の住んでいる場所

(4) 世帯に関する事項

ア 住居の種類

イ 居住室数

ウ 自家用車の有無

エ 年間収入

オ 不在者の有無

カ 10歳未満の世帯員の氏名、世帯主との続柄、年齢及び在学・在園の状況

キ 単身赴任、出稼ぎ等の別（一人の世帯のみ）

6 調査の方法

(1) 調査の系統

この調査は、次の系統により実施した。

総務庁長官（統計局長）—— 都道府県知事 ——
指導員※ —— 調査員 —— 調査世帯

※ 指導員は、都道府県の職員

(2) 調査の実施

調査は、次の手順により実施した。

ア 世帯名簿の作成

調査員が、調査に先立ち、担当調査区内の全世帯の世帯名簿を作成した。

イ 調査世帯の選定

都道府県が、世帯名簿から一定の方法に従って調査世帯を選定した。

ウ 調査票の配布及び収集

調査員が調査日前に調査対象世帯に調査票を配布の上、記入を依頼し、調査日以後、記入された調査票を収集した。

7 集計及び結果の公表

集計は、総務庁統計センターで行った。

集計結果は、総務庁統計局が取りまとめ、平成9

年9月に公表した。

刊行する報告書は、次のとおりである。

第1巻 全国 生活時間編

(その1) - 男女, 年齢, 就業状態別にみた
1日の生活時間 -

(その2) - 世帯の家族類型別にみた1日の
生活時間 -

第2巻 全国 生活行動(余暇活動)編

第3巻 地域 生活時間編

第4巻 地域 生活行動(余暇活動)編

(その1) - スポーツ, 学習・研究, 社会的
活動 -

(その2) - 趣味・娯楽, 旅行・行楽 -

第5巻 全国・地域 時間帯別行動者率

- 時間帯別にみた1日の生活時間 -

第6巻 国民の生活時間・余暇活動(解説編)

なお, 集計した結果には, 報告書に掲載されていないものもあり, これらの統計表については総務省(統計図書館)で電磁的記録媒体により閲覧に供している。

＜内容に関する問い合わせ先＞

総務省統計局統計調査部労働力人口統計室研究分析係
(直通) 03-5273-1163

詳細は、統計局 HP (<http://www.stat.go.jp/>)

平成8年社会生活基本調査のページでもご覧になれます。